

令和6年度 名古屋市教育委員会生涯学習課における大学連携講座等実施概要

1 趣 旨

この事業は、名古屋市教育委員会生涯学習課（以下「生涯学習課」と表記）が、大学等高等教育機関（以下「大学」と表記）と連携し、大学連携講座等（以下、「連携講座等」）をイーブルなごや、生涯学習センター、大学キャンパス等で実施することにより、市民の多様な学習要求に応えることをねらいとする。

2 主 催

この連携講座等は、参加大学と名古屋市教育委員会が協力して実施する共催事業と位置付ける。

3 種 別

(1) 大学連携講座

- **大学連携講座** 大学と生涯学習課が共同で企画し、イーブルなごや、または、生涯学習センターを会場とする講座。指定した内容
- **キャンパス講座** 大学が企画し、大学を会場とする講座。内容、コマ数は自由

(2) 公開講演会 大学と生涯学習課が共同で企画した講演会。

4 講座数

1大学につき、年間1講座程度を開設（公開講演会を除く）
講座数は、前後期それぞれ15講座程度（公開講演会を除く）

5 大学連携講座の内容・役割分担等

○ 大学連携講座

これまで生涯学習課で調査研究した内容に関連して、下表のように産学官連携講座、職業観・勤労観の育成講座、超高齢社会への対応講座を実施する。

(1) 講座内容：下表の①～③のいずれかにする。

① 産学官連携講座

講座の中で、産業界からも講師派遣を受け、産学官が連携することで、学問的な面と実務的な面双方から学習機会の提供を行う。

② 職業観・勤労観の育成講座

親子（小中学生）で講座を受講し、親子の語らいや共通の体験を通じて小中学生が様々な職業に憧れをもち、その職業について理解を深めることができるような講座を開催する。

③ 超高齢社会への対応講座

文部科学省より公表された「長寿社会における生涯学習のあり方について～人生 100 年いくつになっても学ぶ幸せ『幸齢社会』～」を受け、社会環境の変化に対応した講座を開催する。

- ・ 学びと成果還元サイクル、ボランティアや学習グループの育成を目指した講座
- ・ 支えられる高齢者から支える高齢者への高齢者像の変化に対応した講座

- (2) 会場：イーブルなごや 第1・2集会室（定員58人）を原則とする。
視聴覚室（定員126人）、大研修室（定員150人）も実施可能。
生涯学習センターと連携する場合は、生涯学習センター視聴覚室（定員50～60人程度）を原則とする。
- (3) 回数：1講座のコマ数はおおむね2～8回。
生涯学習センターと連携する場合は、3～7回とする。
- (4) 開設日時：大学が候補日・時間帯を指定し、生涯学習課と実施可能日を調整する。
講座1回の時間は90分とし、開設時間帯は次の中から選択する。
午前：午前10時～11時30分 または 午前10時30分～12時
午後：午後1時30分～3時 または 午後2時～3時30分
夜間：午後6時～7時30分 または 午後6時30分～8時
- (5) 定員：会場定員に応じて決定する。
- (6) 対象：一般（15歳以上、中学生を除く）、または親子（子は小・中学生）
- (7) 受講料：無料または有料。有料の際は、大学の収入とし、金額は名古屋市民大学受講料（1回300円）に準ずる。

(8) 役割分担：

<大学の担当内容>

- ① 講座案の企画 ② 講師選定 ③ 日程調整 ④ 講師謝金の負担
⑤ 講座資料の印刷 ⑥ 領収書の作成・受講料の徴収事務（受講料が有料の場合）

<生涯学習課の担当内容>

- ① 講座案の企画 ② 日程調整 ③ 広報 ④ 会場の確保
⑤ 講座申込受付事務 ⑥ 講座運営（名簿・出席簿準備、講師紹介、会場準備、後片付け等）

※ 生涯学習センターと連携する場合は、④～⑥を生涯学習センターが担当する。

生涯学習センターを会場とし、生涯学習センターの講座案内にも掲載する。

- ・ 会場使用料・機器使用料は無料
- ・ 使用できる機器は、パソコン（Windows PowerPoint対応）・プロジェクター・OHCブルーレイ（DVD）プレイヤー・CDプレイヤー等

○ キャンパス講座

大学キャンパス（サテライトを含む）、または、オンラインで実施する。

分野を設定しないことで、幅広い内容で講座を提供する。

- (1) 講座内容は、自由。
- (2) 会場・回数・開設日時・定員・対象・受講料は、大学が決定する。
※ キャンパスが市外にあり、キャンパスでの実施が困難な場合は、イーブルなごやでの実施も可能。その際は、開設日時等会場に関わることは大学連携講座に準じる。

(3) 役割分担：

<大学の担当内容>

- ① 講座案の企画 ② 講師選定 ③ 日程調整 ④ 講師謝金の負担
⑤ 講座資料の印刷 ⑥ 領収書の作成・受講料の徴収事務（受講料が有料の場合）
⑦ 会場の確保 ⑧ 講座申込受付事務 ⑨ 講座運営（名簿・出席簿準備、講師紹介、会場準備、後片付け等）
⑩ オンライン配信環境の準備（オンライン実施の場合）

<生涯学習課の担当内容>

- ① 広報

※ 生涯学習課では、講座案内（前後期各7,000部発行）やWebを通して、適宜PRする。

6 公開講演会の内容・役割分担等

〈イーブルなごやを会場とする場合〉

(1) 講座内容：以下の内容①～⑥のいずれかにする。

- ① 防災・国際理解・宇宙・科学など、大学・企業の「最先端研究」に関わる内容
- ② 名古屋の「歴史」「文化」「ものづくり」など、名古屋の魅力について学ぶ内容
- ③ まちづくり参画・ボランティア育成など、「社会貢献」に関わる内容
- ④ 少子高齢化社会への対応やエネルギー問題など、「現代社会の課題」に関わる内容
- ⑤ 「職業観・勤労観の育成」に関わる内容
- ⑥ 産学官連携といった「新たな連携」による内容

(2) 会場：ホール（定員350人）または、視聴覚室（定員126人）。

(3) 回数：1回のみ（大学連携講座とは別に実施することは可能）

(4) 開催日時：大学が候補日・時間帯を指定し、生涯学習課と実施可能日を調整する。

(5) 定員：会場定員、新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえて決定する。

(6) 対象：一般（15歳以上、中学生を除く）、または親子（子は小・中学生）

(7) 受講料：無料

(8) 役割分担：

＜大学の担当内容＞

- ① 講座案の企画
- ② 講師選定
- ③ 日程調整
- ④ 講師謝金の負担
- ⑤ 講座資料の印刷

＜生涯学習課の担当内容＞

- ① 日程調整
- ② 広報
- ③ 会場の確保
- ④ 講座申込受付事務
- ⑤ 講座運営（名簿・出席簿準備、講師紹介、会場準備、後片付け等）
 - ・ 会場使用料・機器使用料は無料
 - ・ 使用できる機器は、パソコン（Windows PowerPoint対応）・プロジェクター・OHCブルーレイ（DVD）プレイヤー・CDプレイヤー等

(9) 開催申込：当日先着順 または、生涯学習課 まで、直接、問合せ・申込み

〈大学を会場とする場合〉

(1) 講座内容：自由

(2) 会場：大学キャンパス・オンライン

(3) 回数：1回のみ（大学連携講座とは別に実施することは可能）

(4) 開設日時・定員・対象・受講料：大学が決定する。

(5) 役割分担：

＜大学の担当内容＞

- ① 講座案の企画
- ② 講師選定
- ③ 日程調整
- ④ 講座申込受付事務
- ⑤ 講師謝金の負担
- ⑥ 講座資料の印刷
- ⑦ 領収書の作成・受講料の徴収事務（受講料が有料の場合）
- ⑧ 会場の確保
- ⑨ 講座運営（名簿・出席簿準備、講師紹介、会場準備、後片付け等）
- ⑩ オンライン配信環境の準備（オンライン実施の場合）

＜生涯学習課の担当内容＞

- ① 広報

(6) 開催申込：当日先着順 または、

大学・生涯学習課 まで直接、問合せ・申込み のいずれか

7 提出物

講座等の開設を希望する場合、下記内容を、締切日までに、メールにて、生涯学習課へ送付する。

専用フォームは、インターネットサイト「生涯学習Webナビなごや」

(<https://www.suisin.city.nagoya.jp/>) トップページの下段「専用フォーム等」からダウンロード可能。

種別	提出物	締切 (前期開設の場合)		締切 (後期開設の場合)	
大学連携講座	別紙1・2	別紙1	12月8日(金)	別紙1	5月14日(火)
		別紙2	1月12日(金)	別紙2	6月11日(火)
キャンパス講座	別紙3・4	別紙3	12月8日(金)	別紙3	5月14日(火)
		別紙4	1月12日(金)	別紙4	6月11日(火)
公開講演会	別紙5・6	別紙5	12月8日(金)	別紙5	5月14日(火)
		別紙6	1月12日(金)	別紙6	6月11日(火)

※前期 (5月中旬～9月下旬に開講)

後期 (10月中旬～3月上旬に開講)

生涯学習課 メール suishin-c@m8.dion.ne.jp